

第2回・第3回総合教育会議

町では、昨年8月に設置した「総合教育会議」の第2回目の会議を11月30日に、第3回目を12月25日に、それぞれ町公民館研修室で開催しました。

第2回目の会議では、議案第1号で弟子屈町いじめ防止基本方針を協議。協議が整い、原案のとおり策定することとしました。議案第2号では、法律で



各市町村に策定が義務づけられている、教育に関する大綱を協議。弟子屈町教育推進基本計画をベースに、町長部局が所管している子育て支援の充実と連携に関する施策を加えて、原案を作成しています。会議では原案の説明を行い、次回の会議で決定することとなりました。

12月25日に開催した第3回目の会議。第1号議案では、第2回目で原案が提示された弟子屈町教育大綱について、一部修正の上で協議が整いました。(下記参照)議案第2号では、2016年度の教育関係重点事業と予算について、小澤重教育委員長から説明がありました。徳永町長は「予算の事情もあるが、できるだけ計上していきたい」と話しました。

以上で、今年度予定された会議は終了となります。

会議の結果の詳細については、町公式ウェブサイトにも掲載します。

□問い合わせ先/役場まちづくり政策課政策調整係 ☎ 482-2913(課直通)まで。

弟子屈町教育大綱を策定

本町の教育、学術、文化の振興に関する総合的な施策を推進するための指針となる「弟子屈町教育大綱」を策定しました。大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、各地方公共団体に策定が義務づけられたものです。本町では、12月25日に開催した弟子屈町総合教育会議で委員の承認をいただいた後、町長が策定しました。

大綱の実施期間は今年度から2017年度までの3年間で、社会情勢の動向などにより適宜、改定することとしています。

大綱では、既に策定されている弟子屈町教育推進基本計画と第5次弟子屈町総合計画を踏まえ、本町の教育の目指す姿(基本理念)を「学校、家庭、地域社会が連携し、ふるさとを創る人を育む」としました。

基本方針の項目は、下の表のとおりです。

大綱の全文は、町公式ウェブサイトで公開しています。

基本理念	基本方針	施策
学校、家庭、地域社会が連携し、ふるさとを創る人を育む	1 学校教育の充実	1 義務教育環境の充実
		2 高等教育支援などの充実
		3 幼児教育の充実
		4 まなびの向上
	2 社会教育活動の推進	1 社会教育活動の推進
		3 文化・スポーツ活動の推進
3 文化・スポーツ活動の推進	1 地域文化の振興	
	2 スポーツ活動の推進	
4 人材育成・人づくり・人材の確保	1 地域の魅力を高める人材育成	
	5 まちづくりを支えるネットワークの形成・交流活動支援	1 活発な地域間交流
6 子育て支援の充実と連携	1 保育体制の充実	
	2 子どもが安全・安心に暮らせる環境づくり	

問い合わせ先/役場まちづくり政策課政策調整係 ☎ 482-2913(課直通)

協力隊通信

炭田さん(右)
&
高木さん(左)



目指せ人が集まる地域 南弟子屈の30年後の姿とは



南弟子屈の将来像について議論

地域おこし協力隊の炭田晃希です。弟子屈に来て、初めての年越しを迎えました。初日の出は、南弟子屈から最寄り(多和)から見ました。

今月は、南弟子屈地域活性化協議会ワーキンググループで作成した、南弟子屈地域の将来ビジョンを紹介しました。第7回までのワーキンググループを通して、南弟子屈地域の30年後の在り方を話し合いました。(下記参照)今後は、この地域将来ビジョンを実現していくための具体的な活動内容を話し合っていくしたいと思います。

詳細については、3月14日に行う地域おこし協力隊活動報告会でもお話しします。ぜひ、お越しください。

【地域おこし協力隊活動報告会】

日時/3月14日(月) 13時~15時

場所/町公民館 2階 講堂

今年度から着任した地域おこし協力隊の活動と、来年度の活動目標についてお話しします。

途中参加、途中退席可能です。多くの方のご来場をお待ちしています。



日々の活動
発信中!

地域おこし協力隊facebook(フェイスブック)

<https://www.facebook.com/teshikagachiikiokoshikyouryokutai>

南弟子屈地域将来ビジョン

「人が集まり集う町の玄関口 南弟子屈」

南弟子屈が位置する熊牛原野では、アイヌの時代から、釧路川や小高い山からの恵みを受けながら生活しています。今でも南弟子屈では、自然と人が農業を中心とした暮らしを織りなしています。

「自然」が地域の宝であるように「住民」も地域の宝の一つです。これからも私たち住民が暮らし続けていくことで、南弟子屈は、人が集まる地域を目指します。

【変えること】

- 一、若者が住みたい夢のある地域にします。
- 一、多くの人が帰りたい地域にします。
- 一、「南弟子屈」を知ってもらえるものを作ります。

【変わらないこと】

- 一、今ある文化を守ります。
- 一、農業・産業を守り、育てます。
- 一、南弟子屈の「この場所」「この景色」を守ります。



南弟子屈の伝統文化「摩周蝦夷太鼓」

おいしくて長く愛される ワインを目指して

地域おこし協力隊の高木浩史です。弟子屈町で過ごす初めての冬、寒さが厳しいですが、晴天の日も多く、夜の星空は本当にきれいで感動しています。

さて今回は、昨年10月23日に行われた弟子屈産ワイン・和牛発表会で実施したアンケート結果について書きたいと思っています。

弟子屈産ワイン「葡萄色の目」は「おいしい」「飲みやすい」「香りが良い」といった好意的な感想を多くいただきました。一方で「酸味が強い」「若い」「熟成後に期待」といった意見もいくつかいただきました。アンケートにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

「葡萄色の目」は、樽熟成に必要な生産量に及ばず、瓶での1年程度の熟成期間しか設けていません。これからは生産量を伸ばしつつ、適正な熟成方法期間を検討していきます。また、品質の向上と安定化を目指し、ワイン成分の外部分析も実施する予定です。



もっと愛され親しまれるワインを目指していきます